

<報道発表資料>

令和 8 年 7 月 17 日

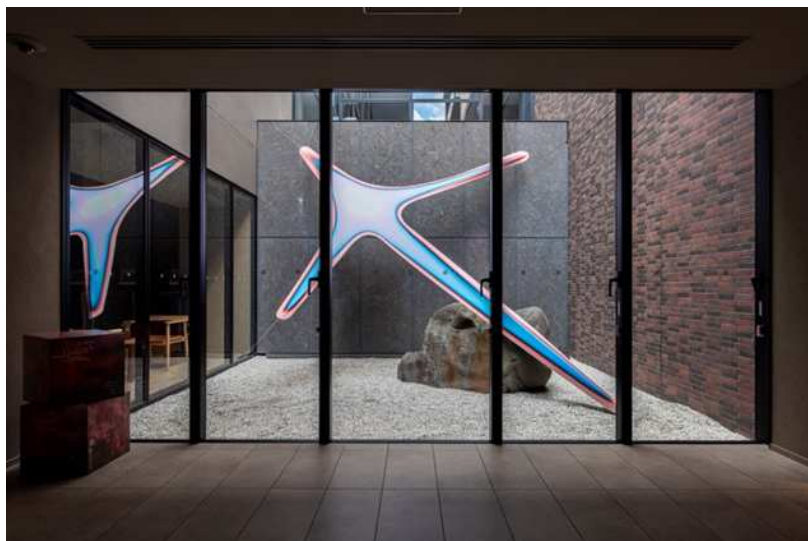
京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

Art Rhizome KYOTO 2026「逆旅京都 3」開催決定

令和 8 年 9 月 11 日（金）～11 月 9 日（月）

歴史と文化の街・京都市内の 9 会場をつないで行われるアートイベント

イザベラ・タム（香港 M+ ミュージアム キュレーター）が特別ライターとして参画



中村夏野《無題》2025 年、W4950mm × H5660mm、ターポリンにデジタル印刷

Art Rhizome KYOTO 2025「逆旅京都 2」、三井ガーデンホテル京都三条プレミアでの展示風景 撮影：岡はるか

京都市と Art Rhizome KYOTO 実行委員会は、令和 8 年 9 月 11 日（金）から 11 月 9 日（月）にかけて、Art Rhizome KYOTO 2026「逆旅京都 3」を京都市内 9 会場にて開催します。昨年、一昨年に引き続き 3 回目となる「逆旅京都」は、今回も宿泊施設、商業施設、公共空間など文化と歴史のまち京都を物語る各会場をつなぎ展示・販売を行います。「逆旅」は宿を意味する言葉で、「逆旅京都」は、さまざまな人・もの・出来事を迎え入れてきた京都全体を宿のようなものとしてイメージしています。今年度は特別ライターとして香港 M+ ミュージアム キュレーターであるイザベラ・タム（Isabella Tam）氏が参加し、紀行文の形式で全会場と作品を記述するテキストを執筆します。

【Art Rhizome KYOTO（略称：ARK）とは】

京都市内の宿泊施設や商業施設等で、京都にゆかりのある若手アーティスト等の作品の展示・販売を行います。

令和5年3月から開催され、今回は6回目の実施となり、市内9ヶ所での展示を行います。

【開催概要】

● 日程

令和8年9月11日（金）～11月9日（月）

※会期中の開場日時は各会場に準じます。

● 会場（予定）

INTA-NET KYOTO／カリモク コモンズ キョウト／京都市役所庁舎／サイツキョウト／
大黒湯＊／フォーチュンガーデン京都＊／ホステルニニルーム／ホテルリングス京都／
三井ガーデンホテル京都三条プレミア

＊は新規参加

● アートコーディネーター（企画チーム）

アーティストック・ディレクター：金澤韻

ディレクター：増井辰一郎/櫻岡聡/黄慕薇

アシスタント：小澤亜梨子/オ・ラムラム/新海さやか

● 特別ライター

イザベラ・タム

（香港の現代美術館「M+」ビジュアル・アート部門キュレーター）

● 料金

無料

● 主催

京都市

● 運営

Art Rhizome KYOTO 実行委員会

● 公式ホームページ、インスタグラム

公式ホームページ <https://arthizome.jp/>

公式インスタグラム <https://www.instagram.com/artrhizomekyoto/>



令和 8 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

【特別ライターに参加】

今年度は、香港の現代美術館「M+」ビジュアル・アート部門のキュレーターを務めるイザベラ・タム氏が、会場をつなぐ紀行文を執筆。現代アートを通して京都の街を再発見します。

● Isabella Tam (イザベラ・タム)

香港の現代美術館 M+ (エムプラス) のビジュアル・アート部門キュレーター。英国エセックス大学にて美術史・美術理論の修士号を取得、ロンドンのホワイトチャペル・ギャラリーにてキュラトリアル・フェローを務めた後、平成 24 年より現職。M+ の立ち上げメンバーとして、同館のアジア現代美術コレクションの構築および開館記念展の企画に貢献。専門はアジアの現代美術であり、特に中国・日本の現代美術と、写真におけるグローバルな現代的言説の並行的な展開や相互交流を主な研究対象としている。主な企画展に、「Right is Wrong: Four Decades of Chinese Art from the M+ Sigg Collection」(ビルトムセアット、ウィットワース美術館／平成 26～27 年)、「M+ Sigg Collection: From Revolution to Globalisation」(令和 3～5 年)、「Yayoi Kusama: 1945 to Now」(令和 4 年)、「Yasumasa Morimura and Cindy Sherman: Masquerades」(令和 6 年)、「時代のプリズム：日本で生まれた美術表現 1989-2010」(令和 7 年、国立新美術館との共同企画)「Myths and Monsters: The Art of Fantasy in Asia」(令和 8 年) などがある。その他、国際的な写真賞の審査員を多数歴任し、令和 5 年にはトーキョーアーツアンドスペース (TOKAS) のキュラトリアル・レジデントに選出されている。

【「京都アート月間」に参加】

秋の京都を彩るアートイベントのひとつとして「京都アート月間」に参加します。国内外より多くの観光客が訪れる秋の京都には、旅の目的地となる様々なアートイベントがあり、Art Rhizome Kyoto もその一つとして各事業と広報連携やプログラム連携を行います。

< 参考 1 > 企画チームについて

- 金澤韻 (かなざわ こだま)：現代美術キュレーター・コダマシーン アートディレクター
東京藝術大学大学院、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了。世界各地の美術館、芸術祭で展示企画多数。東京ミッドタウンアワード審査員 (令和 5 年～) ほか数々のアワードで審査員を務める。

- 増井辰一郎（ますい しんいちろう）：コダマシーン アートプロデューサー
京都大学工学部建築科卒。
建築・デザイン・現代アートにまたがる領域で世界的な実績を持つアートプロデューサー。
Osaka Art & Design 総合プロデューサー。
- 櫻岡聡（さくらおか さとし）：ギャラリスト
東京の商業・ギャラリー勤務を経て、平成 28 年に FINCHARTS を開廊。ギャラリー運営の他、展覧会企画、ホテルなどのアート・ディレクションを行う。ART OSAKA コ・ディレクター。
- 黄慕薇（ファン・ムーウェイ）：アートマネージャー
京都芸術大学大学院グローバル・ゼミ修了。英国ロンドン大学バークベック・カレッジにてアートマネジメント修士号取得。gallery Unfold ディレクター・キュレーター。

アシスタントとして、小澤亜梨子、オ・ラムラム、新海さやかが参加。

<参考 2> 昨年度の展示風景



左：Art Rhizome KYOTO 2025 展示風景、Sfera(0F Café DOnG by Sfera)

撮影：岡はるか

右：Art Rhizome KYOTO 2025 展示風景、京都市役所分庁舎

撮影：岡はるか

<お問合せ先>

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-4200